

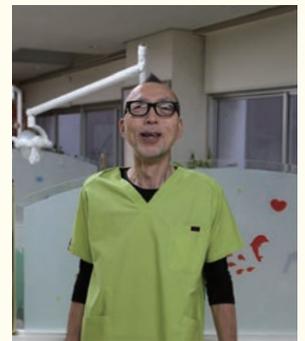
全熱交換器ユニット(ベンティエール) 露出設置形 ご採用事例

司城歯科医院様
(福岡県北九州市)



夏は乗り切ったが冬の窓開け換気は 難しいと考え、換気設備を増設。

新型コロナウイルスが広がってからは、密をさけるため、行きたくても歯科への診察を控えておられる患者様もいらっしゃいます。そのような方が少しでも安心して足を運んでいただける様に、十分な感染症対策を行うことが大切です。当クリニックでも、様々な対策を実行するとともに、夏は窓開け換気を行いましたが、冬の換気は厳しいと考え、全熱交換器の増設を決めました。全熱交換器は天井に埋め込むタイプではなく室内に露出設置できるタイプを選び、あえて患者様の目に留まるようにしました。



司城 秀光 院長

■ ご採用の経緯

さまざまな観点から感染症対策を行ったが、 冬、窓を空けての換気は難しいと判断。

- 患者様はご高齢の方が多いため、できる感染症対策は全て行いました。アルコール消毒液の設置やマスクの着用、手洗い、うがいの徹底はもちろんのこと、ユニット(診療台)を制菌加工レーザーに張替えました。また、診療が終わる度に、次亜塩素酸をユニット(診療台)に塗布し、数十秒置いて除菌してから拭き取っています。
- さらに、夏場は複数の窓を少し空けて換気していました。当院は窓数も多いため風がよく通ります。しかし、窓がユニット(診療台)の近くにあるため、冷たい風が入る冬場の換気は難しいと感じていました。また、空気の乾燥やインフルエンザ対策にも注意しなくてはなりません。
- 私事ですが今年体調を崩したため、3月からGWまで休業し、8月までは午前中のみ、9月から通常診療となりました。私自身の体調の心配もあるため、なおさら感染症対策を徹底したいと思っていました。
- そんな折、ダイキンさんから換気に関するDMが届いたのをきっかけに相談し、換気設備の増設をお願いすることになりました。全熱交換器は冷暖房した熱が保てると聞いているので、冬の効果が楽しみです。

換気対策の強化を、大きな文字で伝えられる ポスターに満足しています。

- 「換気を強化してます」ポスターを全熱交換器本体、クリニックの入口、受付の3ヶ所に張っています。年配の患者様が多いため、大きくわかりやすい表示に満足しています。



院内の目につく場所(全熱交換器本体、入口、受付)にポスターを配置

できる感染症対策は全て行っています。



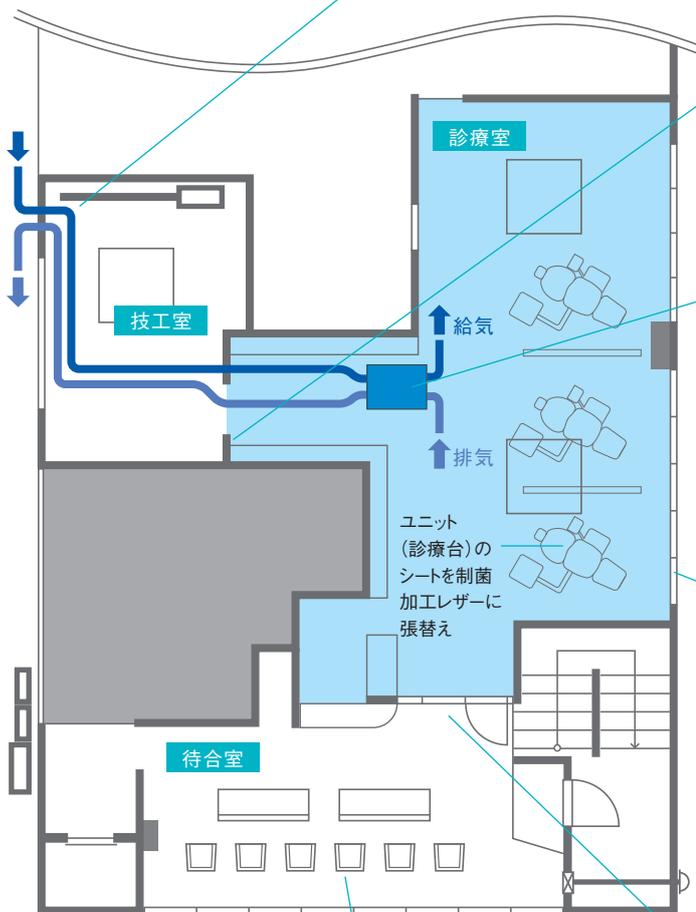
設置工事は休診日に半日で完了。

設置工事は日曜日の半日ほどで済み、患者様に迷惑をかけずに換気設備を増設できました。今は使っていない技工室の普通換気扇を、給排気の出入口として利用しました。

※設置には給気、排気用の空気経路を確保するため、外壁の穴あけ(2つ)が必要です。

司城歯科医院様 間取りイメージ

2F



全熱交換器用のリモコン



診療室

「露出設置形」は省施工で換気量増量が可能。

天井に埋め込まずに設置できるから、後付け設置が省施工で完了します。室内の冷房、暖房で整えた温度はそのままに、空気だけを入れ換える「全熱交換換気」が行え、心地よい空気を保ちます。

納入設備概要:全熱交換器ユニット 露出設置形 VAH250HS×1台



診療室

診療室は、夏場は冷房しながら窓を開けて換気
診療室のエアコンは2020年4月に更新



待合室

待合室は窓と入口を開けて換気し、椅子の間隔も空けました



診療室入口

診療室の入口にアルコール消毒液を設置

1F



入口

1F入口の自動ドアは常時開放

ダイキン工業株式会社

本社 〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
東京支社 〒108-0075 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル